

基本理念

一般財団法人日本環境衛生センターは、生活環境の向上を目的とする法人として、活動全般にわたって環境保全に積極的に取り組み、未来に向けてより良い地球環境の創造に貢献するとともに、その高い使命を自覚し、公正で、信頼性の高い事業を実施する。

1. 高度化する社会ニーズへの適切な対応
2. 調査・研究・分析等に係る高度な技術力の維持向上
3. 公正な業務の実施と高度な技術信頼性の確保
4. 国内外への積極的な情報発信によるネットワーク機能の構築

品質/環境方針

- ① 社会の求める品質・精度を維持するため、品質マネジメントシステムを運用する。
- ② 品質/環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
- ③ 品質及び環境に関わる推進目標を設定しその達成に努めるとともに、達成状況を点検・評価する。
- ④ 環境に関する法令等を順守し、環境保全に努める。
- ⑤ 省資源・3Rなど資源の保全に努めるとともに、地球温暖化対策を積極的に推進する。
- ⑥ 検査、調査・研究、教育・講習、出版、国際協力等の事業を通じ、環境保全の向上に積極的に貢献する。
- ⑦ 調査、研究等の事業実施にあたり、環境負荷の低減及び生物多様性の保全に努める。
- ⑧ 全役職員へのこの方針の周知徹底を図るとともに、一般に公開する。
- ⑨ この方針は定期的に見直しをする。

平成 28 年 4 月 1 日

一般財団法人日本環境衛生センター
理事長

南川 秀樹